

家庭用燃料電池エネファーム かんたん操作ガイド

下記についてご説明します。
詳細は取扱説明書をご確認ください。

- 1 発電モードを選ぶ
- 2 お湯を使う
- 3 お湯をはる
- 4 今日の実績/エネルギーを見る
- 5 リモコンの説明

もしものとき～ 停電のとき

もしものとき～ 断水のとき

もしものとき～ ガス停止のとき

■ 標準モデル
バックアップ熱源機別置型用



無線通信端末
標準搭載

レジリエンス機能
標準搭載



ご使用前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、お使いください。

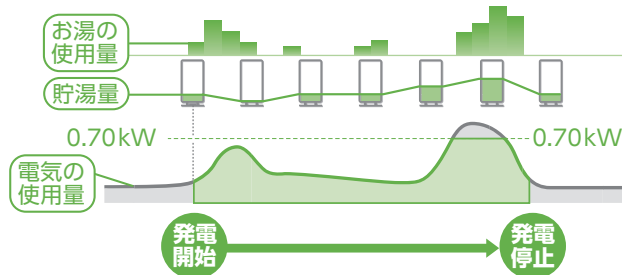
エネファームの運転方法について

エネファームは発電するときに、電気といっしょにお湯をつくります。つくった電気やお湯をご家庭でご使用いただくことで、エネルギー消費を抑制できます。発電モードは、お客さまの暮らしやお好みに合わせて、以下の7種類からご選択いただけます。

自動発電	おまかせ	とにかく使ってみたい!効率的に運転したい!
	発電優先	発電時間を長くしたい!
	お湯優先	エネファームでつくったお湯をたっぷり使いたい!
予約発電		自分で発電時刻を決めたい!
貯湯量発電		貯湯タンクのお湯を使いきって、満タンになるまで発電したい!
手動発電		今すぐ発電をしたい!
発電切(お出かけ停止)		発電を止めたい!

- 自動発電(おまかせ)以外の発電モードに設定すると、自動発電(おまかせ)に設定した場合と比較して省エネ性が低くなる場合があります。

自動発電(おまかせ)の運転イメージ



自動発電とは

お客さまの1か月間の生活パターン(お湯と電気の使用時間と使用量)を学習し、過去の同曜日4日間の情報をもとに、当日の生活パターンを予測し、お湯や電気が必要なタイミングで発電するようにエネファームの動きを決定する運転方法です。

- 1回の発電時間は、最長120時間(5日間)です(予約発電を除く)。実際の発電時間や発電量は、ご家庭の電気・お湯の使用状況などにより異なります。
- 1回の発電につき、2時間以上の機器内部リフレッシュを必要とします。このため、この時間は発電を停止します。

1

発電モードを選ぶ

台所
リモコン

1

発電設定 押す



2

お好みの<発電モード>を選び、
確定する



● 自動発電に設定する場合

3 [▼] [▲] でお好みの<自動発電>を選び、[確定]を押す

4 「『○○○○*1』に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、[確定]を押す

*1 選択いただいたお好みの<自動発電>

● 予約発電に設定する場合

3 [▼] [▲] で発電の開始時刻を設定し、[確定]を押す

4 [▼] [▲] で発電の終了時刻を設定し、[確定]を押す

5 「予約発電に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、[確定]を押す

● 貯湯量発電に設定する場合

3 「貯湯量発電に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、[確定]を押す

● 手動発電に設定する場合

3 「手動で発電を入/切します。」の画面で、「入」を選び、[確定]を押す

4 「手動発電を開始しますか。」の画面で、「はい」を選び、[確定]を押す

● 発電切(お出かけ停止)に設定する場合

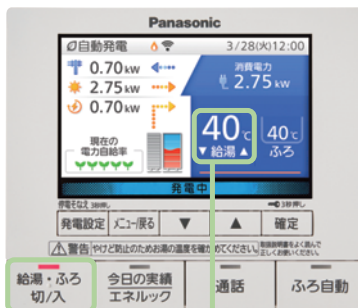
3 「発電切に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、[確定]を押す

2

お湯を使う

台所
リモコン

浴室
リモコン



1

2

1

[給湯・ふろ 切/入] 「入」(ランプ点灯)にする

2

温度を確認する

■ 温度を変えるとき

・ [▼] [▲] で好みの温度に変更してください。

・ 給湯温度は、32、35、37～48(1℃刻)、50、55、60℃に設定できます。

3

お湯を出す

* [給湯・ふろ 切/入] が「切」(ランプ消灯)のときはお湯は使えません。

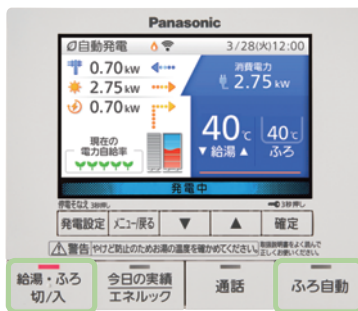
* 冬期などお湯がなかなか出てこない場合、給湯アシスト設定を「入」にすると、お湯の使い始めにバックアップ熱源機を燃焼動作させて、お湯を早く出すことができます(タンクにお湯がない時は変わりません)。

3

お湯をはる

台所
リモコン

浴室
リモコン



1

2

こんな使い方もできます!

時間帯を決めてふろ予約する
(発電アシストふろ予約)
設定した時間内でタンクのお湯がら
目盛り近くとお湯はりをし、満タン
による発電停止を回避します。
詳しくは取扱説明書をご確認ください。

1

[給湯・ふろ 切/入] 「入」(ランプ点灯)にする

2

[ふろ自動] 「入」(ランプ点灯)にする

■ ふろ湯温や、ふろ湯量を変えるとき

[給湯・ふろ 切/入] 「入」(ランプ点灯)にして、[メニュー戻る] → 「ふろ設定」を選び、[確定]を押す

→ 「ふろ温度設定」または「ふろ湯量設定」を選び、[確定]を押す

→ [▼] [▲] で、希望の温度、湯量を選び、[確定]を押す

■ 希望時刻にお湯はりを完了させたいとき(台所リモコンのみ)

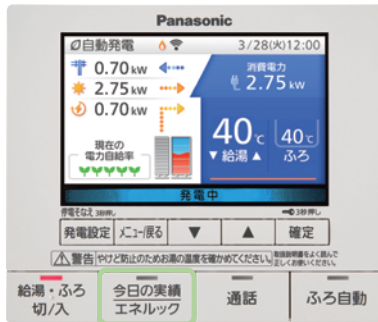
[メニュー戻る] → 「ふろ設定」を選び、[確定]を押す

→ 「ふろ予約」を選び、[確定]を押す

→ [▼] [▲] で、お湯はり完了時刻(ふろの沸き上がり時刻)を選び、[確定]を押す

* 予約は1度のみ有効です(繰り返しません)。お湯はりを行うたびに、予約設定の操作をしてください。

今日の実績/エネルギーでは、その日やこれまでの発電量、CO₂削減量、電気やお湯の使用量などを見ることができます。



今日の実績

今日の実績：エネファーム 1/3		昨日
発電	333円 11.1 kWh	10.8 kWh
自給率	60%	56%
タンクのお湯	434L	422L
自給率	80%	80%

エコ

CO ₂ 削減量(W発電)：実績	
今日	21 + 35 + 14
トータル	286672枚
レシコン	53378.5 km
エアコン	145030枚

発電・W発電



使用量



「今日の実績」の見かた

- 今日の実績 エネルギーを押す(ランプ点灯)
 - ▼ ▲ で、「今日の実績」を選び、確定を押す
 - ▼ を押すごとに、
「今日の実績：エネファーム」画面→
「今日の実績：太陽光発電^{*1}」画面→
「今日の実績：エコ貢献」画面が表示されます。
■ 1つ前の操作に戻るとき
→ X戻るを押す
■ 終了・中止するとき
→ 今日の実績 エネルギーを押す(ランプ消灯)
- ※1 W発電表示設定「入」の場合のみ表示されます。

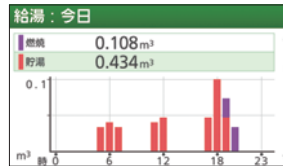
「エネルギー」の見かた

- 今日の実績 エネルギーを押す(ランプ点灯)
- ▼ ▲ で、「エネルギー」を選び、確定を押す
例) 電気のつくった量を見る場合
- ▼ ▲ で、「発電^{*2}」を選び、確定を押す
- ▼ ▲ で、「電気」を選び、確定を押す
▼ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームの発電量を見ることができます。



例) お湯のつくった量を見る場合

- ▼ ▲ で、「給湯」を選び、確定を押す
▼ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームがつくったお湯の量を見ることができます。



- 1つ前の操作に戻るとき
→ X戻るを押す
 - 終了・中止するとき
→ 今日の実績 エネルギーを押す(ランプ消灯)
- ※2 W発電表示設定「入」の場合は、「W発電」と表示されます。

今日の実績：エネファーム 1/3		昨日
発電	333円 11.1 kWh	10.8 kWh
自給率	60%	56%
タンクのお湯	434L	422L
自給率	80%	80%

上段：エネファームでつくった、今日の発電量
下段：家庭内の電気使用量のうち、エネファームでまかなえた割合(自給率)

上段：エネファームでつくった、今日のタンクのお湯(使用量)
下段：家庭内のお湯の使用量のうち、エネファームでまかなえた割合(自給率)

詳しくは
ホームページへ

エネファーム パナソニック

検索

<https://www2.panasonic.biz/jp/energy/FC/>



パナソニック エレクトリックワークス株式会社
電材&くらしエネルギー事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

- 掲載されている情報は2026年4月現在のものであり、変更することがありますのでご了承ください。
- 商品写真について、ラベル等実物とは異なる場合があります。また印刷色のため色調等は多少異なる場合があります。
- リモコン画像はイメージです。ご使用中のご家庭ごとに数値等は異なります。
- 「エネファーム」は、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、ENEOS株式会社の登録商標です。

FC-26007-S

2026.04

5 リモコンの説明

■各部 ●下記は台所リモコンですが、浴室リモコン・増設リモコンも基本的な操作方法は同じです。

(台所リモコン)

発電ランプ(青)

「発電ランプ設定」が「入」で発電中に点灯・表示。(浴室リモコンなし)

発電設定スイッチ

発電モードを変更するとき。手動で停電そなえ発電に切り替えるとき。(台所リモコンのみ)

メニュー/戻るスイッチ

メニューを表示するとき。前の画面に戻すとき。

給湯・ふろスイッチ・ランプ(赤)

リモコンの表示を入/切するとき。給湯・ふろ機能を使うとき。

今日の実績/エネルギーランプ(赤)

今日の実績やエネルギー(発電や使用量に関する情報)を表示、設定するとき。

通話スイッチ・ランプ(赤)

台所リモコンと浴室リモコンで通話するとき。

画面表示部

(下記参照)

三角スイッチ

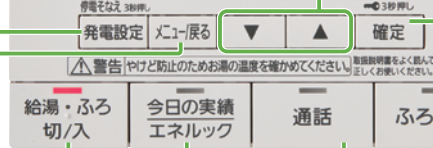
給湯温度や設定内容を変えるとき。

確定・ロックスイッチ

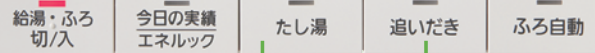
選んだ内容を確定するとき。誤操作を防ぐために、ロックするとき。

ふろ自動スイッチ・ランプ(赤)

設定した湯量と温度で、お風呂にお湯をはるとき。



(浴室リモコン)



たし湯スイッチ・ランプ(赤)
たし湯をするとき。

追いだきスイッチ・ランプ(赤)
追いだきするとき。

■画面

発電モード表示

設定中の発電モードを、アイコンで表示します。また、右記の表示を行うことがあります。

■保護動作中

機器を正常に動作させるために、右表の保護動作を行うことがあります。保護動作中は発電を停止しますが、給湯・ふろ・暖房の利用は可能です。

表示	原因
□保護動作中	4日程度お湯を使用していないとき
■保護動作中	電力使用量が多く、ブレーカー遮断のおそれがあるとき
■保護動作中	内部温度が運転可能温度を超えているとき
■保護動作中	発電後、機器内部のリフレッシュをしているとき
■保護動作中	マイコンメータの機能確認をしているとき
■保護動作中	エネファーム内部の水を浄化しているとき

売電電力/

購入電力表示

← 売電電力 ※1
→ 購入電力

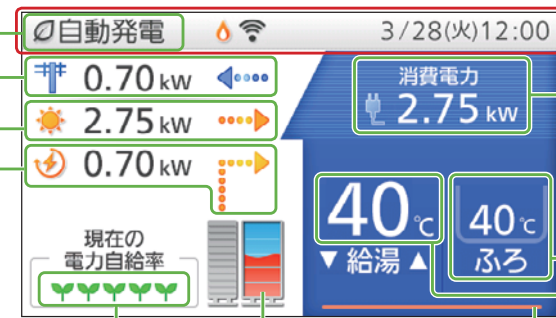
太陽光発電表示 ※1

※1 W発電表示設定「入」時のみ

エネファーム発電表示

発電状態表示

- 待機中
- 起動中 (アニメーション表示)
- 発電中 (アニメーション表示)
- 停止中 (アニメーション表示)



電力自給率表示

家庭の電力をエネファームと太陽光発電でどれだけ自給できているかを表示します。目盛り(♥)は20%単位で表示します。

貯湯タンクの残湯量表示

発電中は貯湯タンク内でお湯が波打つアニメーション表示をします。お湯の温度が約45℃以上の残湯量を表示します。5目盛りになると音でお知らせします。

この領域にエラー表示(○OF○、3桁数値など)が出た場合は、取扱説明書をご確認の上、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者までご連絡ください。

家庭の消費電力表示

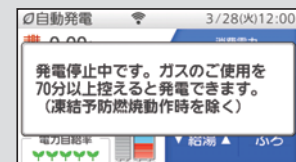
ふろ状態表示

給湯設定温度

床暖房状態表示

「■保護動作中」のときは

「■保護動作中」にガスのご使用が続くと、最長24時間発電を停止します。さらにガスのご使用が続くと、リモコンに右の画面が表示されますので、70分以上ガスのご使用をお控えください。



もしものとき

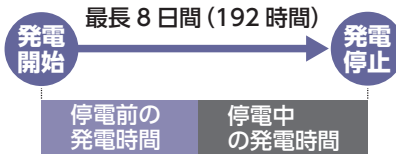
停電のとき

停電したときは、ガスと水道が止まっていなければ、最大500Wの電力と、給湯、お風呂、床暖房を

エネファームは、停電になっても発電を継続できるため、停電中も電気・給湯をご使用いただけます。(発電停止中に停電になった場合は、外部電源をつかって発電を再開させればご使用いただけます)

停電時専用コンセントから、最大500Wの発電電力を使えます

最長8日間(192時間)連続発電できます



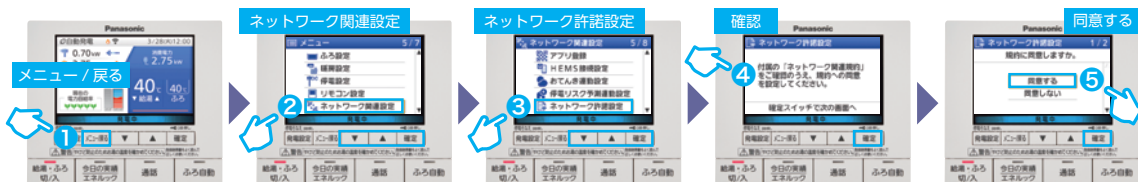
- 給湯やガス温水床暖房に使用する電力も含まれます。
- 停電発生前に発電していた場合、その発電時間も含まれます。

※ パナソニック製インバーター式冷蔵庫について確認

事前準備 停電前に設定を確認 台所リモコン

事前に設定・確認しておけば、停電時に操作する必要はありません。

- ① 停電発電モードが「停電発電入」になっていることを確認する 工場出荷時設定「入」
- ② 停電リスク予測連動設定が「入」になっていることを確認する 工場出荷時設定「入」
- ③ ネットワーク許諾設定が「同意する」になっていることを確認する 初期設定必要



ネットワークを経由して、ウェザーニューズ社が提供する「停電リスク予測情報」を受信すると、

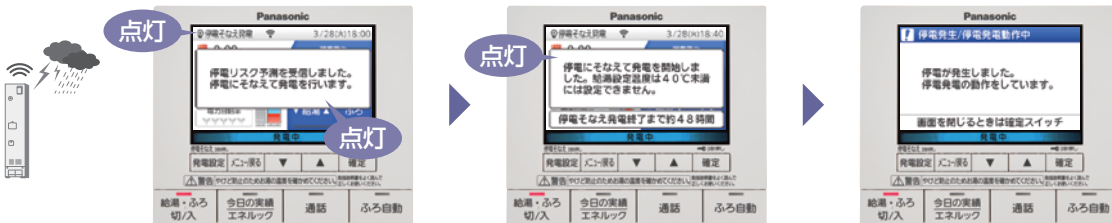
自動で「停電そなえ発電」に切り替わります

停電リスク予測情報を受信すると

自動で停電そなえ発電に切り替わります

停電そなえ発電を開始します

停電が発生したら、停電発電に切り替わります



発電停止中の場合は、発電開始まで起動時間(約40分)が必要です。

- 停電そなえ発電は48時間継続します。また、停電そなえ発電中は、700Wまで発電ができます。
- 停電そなえ発電中は貯湯タンクのお湯が満タンに近づくと、浴槽にお湯を自動で排水します。

ご注意

- 発電モードが「発電切(おでかけ停止)」に設定されている場合は、自動で停電そなえ発電に切り替えができません。発電モードを「自動発電」などに変更し、手動で「停電そなえ発電」に切り替えてください。
- 保護動作中は、停電そなえ発電に切り替わらない場合があります。保護動作が終了すると停電そなえ発電に切り替わります。
- 停電そなえ発電は停電時の発電を保証するものではありません。停電リスク予測情報を受信した際のエネファームの状態や、停電発生のタイミングなどによっては、停電発生までに発電を開始できない場合があります。
- 「停電リスク予測情報」は、その地域で非常に強い風速が予測される場合に受信します。台風や暴風などの荒天でも「停電リスク予測情報」を受信しない場合があります。

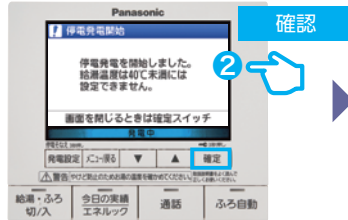
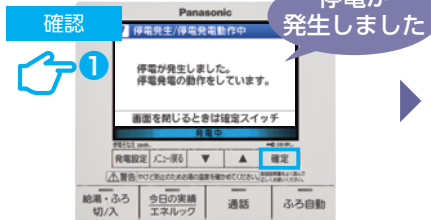
ければ、エネファームで発電して、
を使うことができます。

ガスと水道が供給状態にある
必要があります。

停電になったら

音声と画面で停電発生を
お知らせします

「給湯・ふろ 切/入」スイッチを
「入」にする



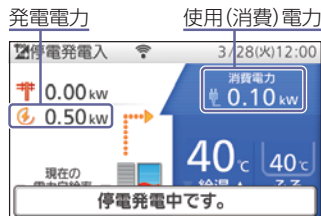
※既に「入」になっている場合、本操作は不要です

使用したい機器を



に接続し使用してください

(停電発電時のリモコン画面例)



- 500Wの電力を使用できるまで、停電発生時から最長約10分かかることがあります。
- リモコン上の「消費電力」の表示を確認しながら、「発電電力」を超えないようにお使いください。
- 停電発電を開始すると、給湯設定温度が40℃未満の場合、自動で40℃に切り替わります。停電発電中は、給湯温度を40℃未満には設定できません。
- 停電発電中は、貯湯タンクのお湯が満タンに近付くと、浴槽にお湯を自動で排水します。浴槽の栓を閉めたままにすると、浴槽からお湯があふれる可能性がありますのでご注意ください。

こんな使い方もできます!

①「停電そなえ発電」に手動で切り替える

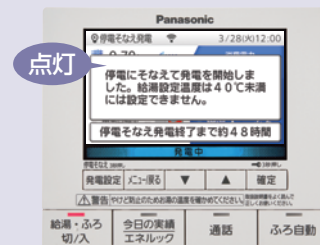
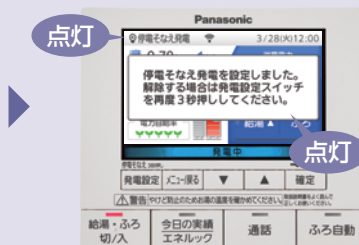
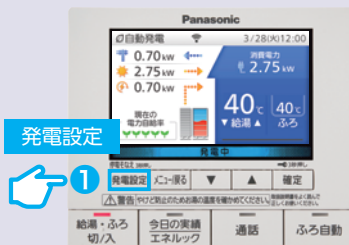
急な天候変化で停電の恐れがある場合や、
計画停電などに備えたいとき

- ネットワークに接続してなくても使用できます。
- 手動で切り替えるときは、停電が予想される時刻よりも2時間ほど前までに設定してください。

3秒以上押す

停電そなえ発電に切り替わります

停電そなえ発電を開始します



■ 停電そなえ発電をやめるとき 「発電設定」を3秒以上押すと、「停電そなえ発電」を終了し、元の発電モードに戻ります。

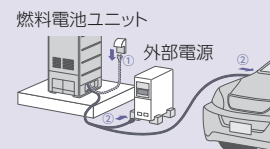
②外部電源を使い発電を再開する

発電停止中に停電したとき

エネファームが発電停止中の場合は、携帯型の蓄電池や発電機などと接続することで、エネファームを起動させ、発電を再開させることができます。

詳しい手順は取扱説明書をご確認ください。

- 蓄電池および外部電源の
使用できる電源の目安
電圧：AC101V±6V
出力：1kW以上
容量：0.5kWh以上



もしものとき

断水するとき

生活用水の取り出し方

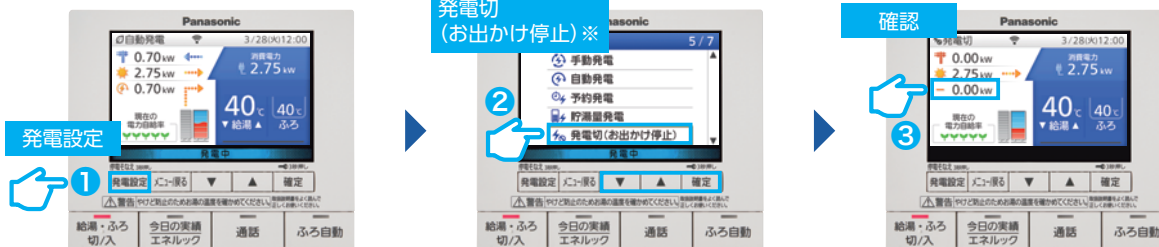
断水したときは、貯湯タンクのお湯(水)を取り出し

事前準備 発電を停止させる

台所
リモコン

エネファームが発電中・停電発電中(起動中[⚡]・発電中[⚡])の場合のみ

発電状態表示が待機中(-)に
変わるまで待つ(最大約90分)

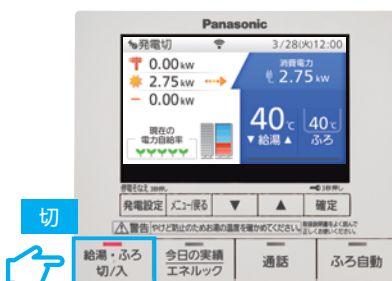


※停電発電中の場合は、停電発電モード設定を「停電発電切」にしてください。

1

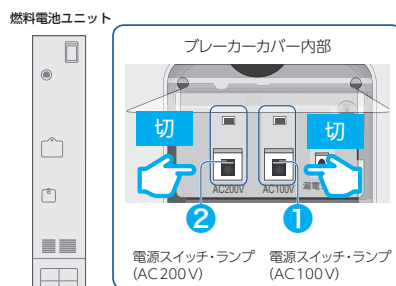
給水栓・給湯栓を閉め、

給湯・ふろ 「切」にする



2

システム電源を「切」にする
(AC100V→AC200Vの順)



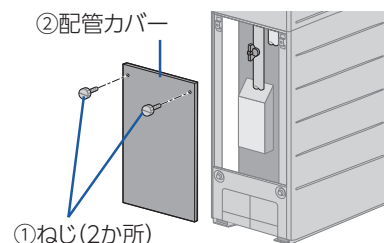
3

バックアップ熱源機のガス栓を
閉める

・バックアップ熱源機の取扱説明
書を確認して行ってください。

4

貯湯ユニットの
配管カバーを取り外す



- 取り出したお湯(水)は生活用水として利用できます(飲用は避けてください)。
- 貯湯タンクからは、約96Lのお湯(水)を取り出すことができます。非常時水取出し口からは、内径15mmの水道ホースを用いると取り出しが容易です。全開にした場合、全て出し切るには、約20分かかります。
- お湯(水)は、熱に強い容器で受けてください。
- 容器や水道ホースはお客さまにてご用意ください。

もしものとき

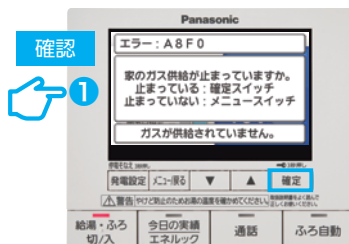
ガス停止するとき

ヒーター給湯の使い方

ガスが停止した場合、
電気でお湯をためて、

1

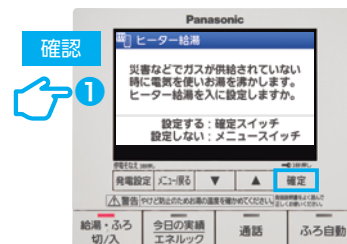
表示画面を確認し、
確定する



ガスの停止を確認
してください
(ガスのおいがないことなど、
周囲の安全を確認
してください)

2

表示画面を確認し、
確定する



■設定しないとき

「メニュー」を押し、取扱
説明書に従って故障
表示「A8F0」の処置
を行ってください

て、生活用水として利用できます。

- 5** 栓・バルブなどを開閉する
- ① 給水元バルブ：閉める
 - ② 排水バルブ：3回転ほど左に回して開き、すぐ元通り閉める

お湯(水)を受けるため、熱に強い大きめの容器を置く

③ 逃し弁カバーを取り外し、レバーを持ち上げて逃し弁を開く

- 6** 水道ホースの先端を非常時水取出口(a)に差し込む
- ・ 適当な太さの水道ホースがないときは、小さめの容器を非常時水取出口(a)の手前に置き、受けたお湯(水)を大きめの容器に移してください。

- 7** 非常時水取出口(a)を左に回して開く
- お湯(水)が出始めます。

警告 お湯に触れない (やけどの原因)

- ・ 貯湯タンクの残水量が多いときに全開にすると、勢いよくお湯(水)が出ます。ゆっくり開き、様子を見ながら回転して調整してください。

非常時水取出口から取り出せないとき

手順6～手順7の操作を次のように変更してください。

- 6** 水道ホースの先端を熱回収低温水抜き口(c)にあてがう
- ・ 水抜き口の外側の直径は約10mmです。内径10mmくらいの柔軟なチューブを取り付ければ、楽に取り出しができます。

- 7** 熱回収低温水抜き栓(b)を左に回して緩める
- お湯(水)が出始めます。

警告 お湯に触れない (やけどの原因)

- ・ 出てくるお湯(水)は、最初から高温であることや、途中から高温(最高約80℃)になることがあります。

■お湯(水)を止めるとき

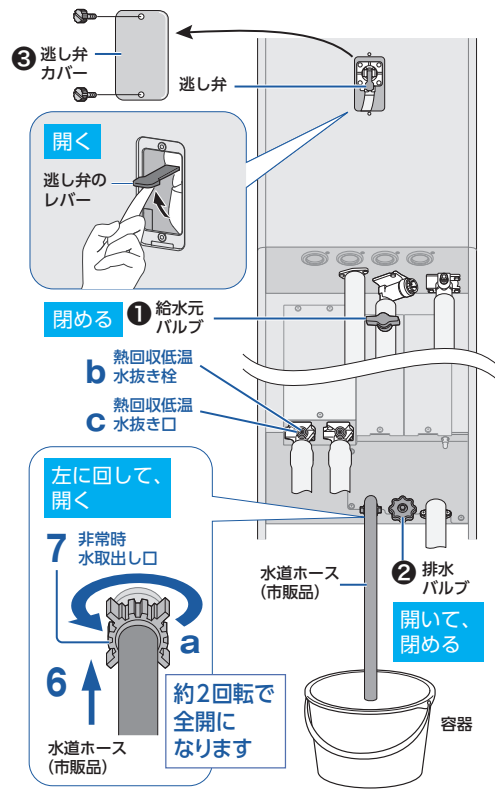
非常時水取出口(または熱回収水抜き栓(b))を右に回して閉め、逃し弁を元に戻す

- ・ 取り出しが終了したら、逃し弁カバー・配管カバーを元どおり取り付けてください。

お湯(水)取り出し後にシステムの使用を再開するとき

使用を再開するときは、システム電源を「入」にした後、バックアップ熱源機、貯湯ユニット、バックアップ熱源機配管の水抜きと、各機器の水はりを行ってください。貯湯タンクのお湯(水)を取り出すと、タンクにお湯(水)が残っていても、そのままシステムの使用を再開することはできません。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

貯湯ユニット(配管カバーを取り外した状態)
(イラストはすべての栓、バルブが「閉」の状態を表示)



周囲の安全を確認した上で、機器に異常・故障がなければ、給湯に使用することができます。

ヒーター給湯を開始します

(故障表示「A8F0」が表示されますが、ご使用に問題はありません)



- ・ 「ヒーター給湯」はガス停止時のみ使用できます。停電や断水が発生している場合は使用できません。また、冬期など凍結のおそれがある場合は、凍結予防動作が優先され、その間「ヒーター給湯」は使用できません。
- ・ 「ヒーター給湯」の場合、お湯がなくなることがありますので、残湯量表示を確認しながらお使いください。
- ・ 「ヒーター給湯」を使用すると、貯湯タンクが5目盛りになるまでお湯をつくりません。お湯がたまるまでの時間は、以下を目安にしてください。季節や設置環境などによって異なります。

貯湯タンク容量100 L	水温5℃	水温15℃	水温30℃
貯湯タンクの残湯量が0目盛りから5目盛りになるまでの時間	18時間	15時間	9時間

- ・ お湯が5目盛りまでたまると「ヒーター給湯」は運転を停止しますが、お湯を使用して3目盛り以下まで減らすと運転を再開します。